

## 学会企画シンポジウム 9

Social Emotional Learning (SEL) の教育実践を規定するコア・コンポーネントに迫る

——どのような教材・指導案・カリキュラムがあると SEL は成立するのか？——

企画・司会：西山久子（福岡教育大学）

企画・司会：渡辺弥生（法政大学）

話題提供：西田千寿子 氏（田辺市立新庄第二小学校）

話題提供：渡邊直美 氏（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）

話題提供：平井陽伸 氏（福岡県筑後市立筑後北小学校）

話題提供：伊藤久仁子 氏（共立女子第二中学校高等学校）

指定討論：利根川明子（国立教育政策研究所）

指定討論：小西千秋 氏（McGill University）

### 企画趣旨：

社会情緒スキルや非認知能力の学習機会を早期に導入することは、学力面での成果やメンタルヘルスを増進させ、社会に貢献する大人になるとされている。これを定着させ、持続可能な学びとするには、適切な心理教育を計画的・効果的に児童生徒に届けることが必要である。しかし、実際はどのような実践の要因が SEL のフレームワークとして実施していることの決め手になるのか、コアとなる視点が共有されていない。そこで、本企画では2つの視点に焦点を当て検討する。(1)実践で SEL のアイデンティティとして必須の要素。(2) SEL のガイダンス授業等で不可欠の授業者の実践。まず、SEL の推進者から、SEL 実践のコア・コンポーネント：SEL に不可欠の要素に着目した、心理教育のガイダンス授業・教育実践への SEL 導入の実践をご紹介いただき、発達心理に造詣の深い研究者からの示唆を元に討議し、SEL 実践のアイデンティティに迫りたい。